

カシミヤの秋。貴方の首元にUTOの天使が宿ります。  
この肌触りはきつと史上最高の体験です。

酷暑の夏から、続けざまに強烈な2つの台風が過ぎ、いきなり秋が訪れました。10月の声を聴いたとたんに、夕方陽の落ちるのが早くなったのを実感します。

ワールドカップ本大会。直前の監督交代や練習試合での負け続けて期待値ゼロだった日本代表が、決勝トーナメントまで勝ち上がったことで大盛り上がり。モスクワ大会。大いに楽しみました。お祭りが終わってなんとなく脱力感。



【ポップアップブローダー会再開・営業の鈴木拓巳に、ご用命ください】

1992年創業以来UTOはずっと卸を本業として全国のレディース・メンズのブティック・百貨店で販売していただいていたのですが、対応できる営業がいなく、ここ数年は直接のお客様が中心で、店舗への卸は細々の状態でした。  
スタッフも徐々に揃いお店への対応が出来るようになり、やっと本格的に卸を再開することになりました。窓口は鈴木拓巳が担当しますのでどうぞよろしくお願います。

11月21日から阪急阪神百貨店梅田本店でブローダー&販売会を開催予定です。関西地区にお住まいで都合がつかず方は是非お出かけください。

【ようこそ、UTOSHOWERへ】

ビルの6階にあるので最初はなかなか入りにくいと思いますが、一度いらっしやっただお客様には好評です。  
通りから見えるお店と違って、オフィスのなかの落ち着いた感じ、ゆっくり話ができるので居心地が良いと言っていました。

地方から東京に出てきたので、連絡を頂ぎます。もちろん大歓迎です。  
渋谷の隣の表参道です。駅からかなり便利などころです。お気軽にお立ち寄りください。

月曜～金曜の11:00～17:00  
11月から秋冬季節は、土曜日も開けることにしています。

事前にご連絡を頂ければ、日曜祝日も開けますので、お早めに、ご連絡ください。(地下鉄銀座線・千代田線・半蔵門線表参道から、徒歩5分)

【十一月十六日は、UTOカシミヤの日】

5年前から秋の立ち上がりのお祭りとして、UTOのウェブサイト「UTOカシミヤの日」をやっています。  
シーズン初め、なんとかUTOカシミヤの良さを試してもらい、お祭りの景気づけの日として設定しました。  
ウェブ専用、一日限りですので、[uto-cashmere.com](http://uto-cashmere.com) にアクセスしてください。

【若手工場の高橋純君に待望の赤ちゃん】

UTO若手工場は工場長の遠藤さん74歳以外の平均年齢は30歳前後の若者集団です。15年に結婚した高橋純君に待望の赤ちゃんが誕生しました。  
翼(つばさ)ちゃんです。彼のスマホの待ち受け画面をはじめ、写真は翼ちゃんだらけです。

これを機に、一家と若手工場を支えるお父さんとして、頑張ってください！



【青山・表参道界限】

青山通りのディーラーさん

スーパーカーのショールームが勢ぞろい

青山通りの紀伊国屋の裏で海外旅行の会社を創ったのが1974年。青山とのかかわりが始まりました。その前は虎ノ門にいたので、青山は随分と都落ちした感がありました。80年ころに青山にホンダが来るらしいという話がささやかれましたが、その後実際に青山一丁目にはホンダの本社が出来たことで、これで青山も見直されると喜んだものです。

92年に骨董通りの中ほどでニット屋を創業して25年が過ぎました。その間地下鉄の表参道駅が大きく変わり、表参道界隈には有名ブティックが集まりすっかり様変わりし、今では東京の中でもお洒落な街として、超有名になってしまいました。

そんな青山ですが、最近青山通りにスーパーカーのショールームが続々と出来ているんです。  
ホンダの本社がある青山一丁目から4丁目の表参道の交差点まで集中しています。以前はベンツのヤナセやボルシェが六本木にあったのですが、最近のディーラーの集中的な新店は車にあまり興味のない私でも気づきますし、異常に思えますが、車好きにはたまらないでしょう。

青山一丁目のホンダから渋谷に向かって両側のウインドーにかっこいいスーパーカーの並び様が車の展示会のようにです。

F1大好き、スーパーカー狂いの友人と一緒に歩いていてみると、嬉々として車の解説をしてくれま

一丁目のホンダ本社には時々F1マシンが展示されています。こんな小さな車でよくあんなスピードで走れるものだと感心するごときりです。  
ホンダのすぐ先にコロンという会社のウインドーに私も知っているロールスロイスとランボルギーニがあります。北海道の友人が、「北海道にはランボルギーニがたくさんあるよ」と聞いて、ランボルギーニを作っているイタリアの会社の本業はトラックと聞いて納得しました。

ホンダの向かい側には、あの007に出てきたアストンマーチン。銀杏並木で有名な神宮外苑の入り口の角にフェラーリ。伊藤忠の本社を過ぎてレクサスの大きなショールーム。その向かいにイローン・マスクで話題の電気自動車、テスラ。外苑の交差点にはBMWです。  
外苑西通りを越してボルボがあり、その先の向かい側がボルシェ。青山通りはまるでスーパーカーストリートです。

骨董通りの事務所です仕事していると、試乗のスーパーカーがうるさい音で通りぬけることが度々。もつと静かに走れないものかと事務所を覗きかめてはいるのですが、スーパーカー狂いによると「あの音は良いんです！あれはフェラーリだ！」と音だけで判るようです。



カシミヤ100%  
7G タートルネックセーター

1117-1335 ¥73,440(税込)

7Gのふっくらとした質感が際立つ、タートルネックプルオーバー。身頃から編みつつつけた衿は、締め付けないルーズなボリュームで、首周りを優しく包みます。裾に向かい緩やかに広がるボクシーなシルエットと腰下の丈感で、安心の着用感も魅力です。



カシミヤ100%  
両畦編フリンジ付きスヌード

1317-3010 ¥41,040(税込)

最高級のカシミヤをたっぷり贅沢に使用したスヌード。フリンジがアクセントです。アレンジ次第でイメージを変えて楽しめます。ウィンターシーズンのコーディネートに新鮮にアップデートしてくれるアイテムです。



カシミヤ100%  
両畦ニットキャップ

1317-3011 ¥18,144(税込)

長くご愛用頂けるシンプルなデザインのカシミヤニットキャップ。とても軽い仕上がりです。スヌードと色を合わせてセットアップでお使いいただけます。



カシミアとニットの話 \* (六十二)

成長するカシミアニット

もつとふんわりになつてくる、天使のカシミアシリーズ

UTOの天使のストールは名前の通り、軽く柔らかく気持ちの良い、当社自慢の商品です。創業間もない1993年頃、職人さんと何度も何度も試編みして作り上げた商品なので愛着もひとしおです。以来、私の冬のマフラーはもつぱらこの天使のストール一本やりです。

冬になるとこの天使のストールは手放せませんが、毎日同じものではないので何本かをローテーションで使っています。

シーズンの中で2〜3回くらい洗濯することになります。クリーニングには出したことありませんが、カシミアさんがやってくれるのですが、いつも洗濯機の手洗いモードです。

洗剤や柔軟剤も市販のもので、普通の全自動です。最後の脱水まで自動的にやってくれるので、これと言って手をかけるわけではありません。

「あえて普通に洗濯してほしい」とお願いしています。これはUTOの実用テストでもあるのです。もちろんカシミアのセーターも同じように洗濯機で洗っています。自社のカシミアの変化を見たいと思っていますからです。

当社では常々、「UTOのカシミアニットは、ご自宅での洗いをお勧めします」と言っています。

一般の方なら、高価で繊細なカシミアの天使のストール&マフラーを洗濯機で洗うにはかなり勇気が要るかもしれません。

今年1月頃、お客様に天使のストールをお勧めしているときに洗濯の話になりました。

「ご自宅で洗って下さいね」とお勧めしていましたが、どうしても自信がないとおっしゃいます。そこで、私が個人で5年以上使っている天使のストールをお見せしました。随分使っているの、サイズは若干変化したものです。

そのストールを手にとって、「エーッ！お店にあるこの天使のストールは凄く柔らかいのにもつと、こんなにも柔らかくなるんですね！」

と、二度ビックリの声を上げられました。私はいつも普通に洗って、普通に手洗いモードで洗濯して、首に巻いて良い気持ちになっていただけでこんなに感激されるとは予想外でした。

「時間が経つにつれてスカスカになってくると思っていました！、それが逆にこんなにふわふわになってくるなんて想像していません！」と、納得でお買い求めいただきました。

以来、青山のショールームに来て頂いたお客様に天使シリーズをお見せするときには、時間が経つて何度も洗濯した私の天使のストールを手にとってもうらうことが、いつものことになりました。

最近、お店や百貨店などでのオーダー会の時には、必ずあの5年物の天使のストールを貸して下さいます。とリクエストされます。先日のファクトリーエさんでカシミアの説明をさせて頂いた時も5年物の天使のマフラーは大好評でした。

「宇土さんの使用した天使をもつと貸してください！」といわれるのですが、と言われても、私の私物がそんなに沢山あるわけではありません。

\*天使シリーズをご自宅で洗濯される際は、折りたたんでネットに入れて頂くと、洗濯機で普通に洗え形も崩れにくいですので、お試しください。



蝉取りの思い出



これを書いている今はまだ7月。災害と言えほどの暑さに地球がどうにかなくなってしまったんじゃないかと思えます。

青山は都会のど真ん中ですが、南青山を大きく占めるのが青山墓地です。青山通りからは見えませんがビル奥に広大な墓地が広がります。な緑がある都会のオアシスです。明治7年に出来た墓地ですから100年を超すような木もあります。

その木の一つに沢山のセミの抜け殻を見つけた。懐かしく子供のころを思い出して思わず写真を撮りました。

セミの思い出はやっぱり蝉取りです。子供のころの1950年代の九州島原は随分貧しくて補虫網などしやれたものは誰も持っていない。細竹の先に輪っかを作って、その輪っかにクモの巣を何重にも巻き付けて、クモの糸のねばりでセミをくっつけて捕るのです。

何度も失敗して逃げられるたにおしっこをかけたけれど、成功して、セミがくっついてバタバタと暴れる感じがいまだに手に残っています。捕ったセミは鳴くでもなくじっとしていているだけで面白くないので、すぐに逃がすのですが、あの息を凝らしてセミ捕りをするときの緊張感が子供なりにスリルがあって楽しい思い出です。

そのセミはシャウーシャウーシャウーというけたたましい声で鳴くクマゼミでした。

島原でセミと言えはクマゼミでしたが、高校を出て関東に来て以来、セミはアブラゼミやミンミンゼミなどであのけたたましいクマゼミの声は聴かれません。時々、テレビの中継などで関西や九州などの映像と一緒にシャウーシャウーシャウー！が聞こえてくると、「あークマゼミだ！懐かしい！」と感じていました。

そのクマゼミの声を昨年東京で聴き、ビックリしました。青山5丁目の青南小学校の前の御幸通りの並木であの懐かしいというか、うるさいシャウシャウシャウという鳴声を間違えるはずがありません。今年も通勤の時に聴きました。地球の温暖化で、とうとうクマゼミが関東まで生息するようになったことを確信しました。

世界のホテルを旅する(六十一)

元 旅行屋のお勧め ローマ・イタリア

グランドホテル パラティーン

このグランドホテル パラティーンは、夢にまで見ていたヨーロッパに着いて、最初に泊まったローマでの印象深いホテルで、1974年のことです。

古代ローマ帝国の名残を残す永遠の都、ローマ。初日は市内観光で、ひと通りの名所を巡り、興奮の中であつと間に過ぎました。翌朝、時差ぼけもあつてか5時前に目覚め、「自分は今念願のローマにいる」ことをはたと思いついたら、寝ている時間がもつたたく急いで着替えてホテルを飛び出しました。

ホテル前の通りは、風間はやけにクラクションがけたたましく、うるさい通りと思っていました。まだ目覚めていないローマの街は石造りの建物が並び、石切り場のような気分がしました。感を頼りに3分ぐら歩いて昨日見た石柱が並ぶローマ帝国遺跡を象徴するフォロロマーノが目の前に広がりました。誰もいない遺跡は昨日の市内観光の時の印象とは全く違う世界でした。

「シーザーがここで演説したのか」と、感慨にふけりながらふと左に目を移すと、ドーンとコロッセオが見え始めています。圧倒するように聳えるコロッセオを見た途端に、「アー！とうとうローマに来たんだ！」と、感動と実感が湧いてきました。

ホテルの名前がパラティーンですので、古代ローマ遺跡のすぐ近くだと言う事は解るはずですが、初めてのヨーロッパ添乗で舞い上がっていたんだと思います。

ローマでは市内観光の後にチボリ公園とヴィラ・アドリアーナの庭園を見学し、鋭い陽差しの中、プールのような池にギリシャ風の戦士の像と柱の立ち並ぶ古代ローマ皇帝ハドリアヌス帝の別荘だった、ヴィラ・アドリアーナを訪れました。

プールの奥に見事なキョウチクトウの赤やピンクの花が咲いていました。種苗会社にお勧めだったメンバーの方が「こんなに見事な花はとつても珍しいよ！」と、公園のギリシャ風の像そっちのけで場違いのキョウチクトウの花を夢中で撮影されていた姿がとつても印象に残っています。



自分が初めて作ったヨーロッパツアーで、イタリア、スイス、ドイツ、オーストリア、イギリスと、ヨーロッパの古城と花と庭園を巡る2週間のツアーで75万円ぐらいたったと覚えています。当時自分の給料が7万円ぐらでした。本当にヨーロッパは遠い異国の地でした。